

Q 9 私の子どもは、学校でいじめを受けています。担任の先生に相談をするのが一番いいことだとは思っていますが、先生にはなかなか相談できません。どうすればいいか迷っているのですが、何かいい方法はあるのでしょうか？

A 一番大切なことは、まず、お父さん、お母さんが親身になって相談に乗り、先生、兄弟姉妹、友達など、だれかに相談する勇気を持たせることです。

いじめの問題については、恐らくすべての人が「いけないことだ」と考えていると思います。

しかし、いじめの問題は現に起きており、3年連続で減少しているものの、平成10年度間には、なお、約3万6,000件のいじめが発生しています。

いじめの背景には、様々な要因がありますが、ある調査によれば、いじめを行っている子どもは、友だちに注意されるよりも、先生や親など大人に注意された場合の方が、いじめをやめる割合が高くなっています。ですから、いじめの訴えがあったときには、まず誰か周りの大人がすぐに相談に乗ることが大切です。

また、先生たちには、いじめられていることを話したことによっていじめられる恐れがある子どもたちを徹底して守り通すという態度で、いじめ問題の解決に取り組む責任があります。ですから、先生に相談をする勇気を持ってほしいと思います。

さらに、最近では、多くの学校にスクールカウンセラーや心の教室相談員が配置されていますので先生には相談をしづらいということであれば、このようなカウンセラーや相談員に相談を試みてほしいと思います。

いじめの問題は、教育上の大きな問題です。人をいじめることは、人間として決して許されることではありません。すべてのお

父さん，お母さん，すべての学校でこのことを子どもたちにきちんと教える必要があります。

【いじめの発生件数の推移】

区 分	平成8年度	平成9年度	平成10年度
小 学 校	21,733	16,294	12,858
中 学 校	25,862	23,234	20,801
高 等 学 校	3,771	3,103	2,576
盲・聾・養護学校	178	159	161
計	51,544	42,790	36,396

【いじめを止めた理由（二つまで回答）】

（単位：人、％）

	小 学 校	中 学 校	合 計
担任の先生に注意されたから	395 29.2	669 20.8	1,064 23.3
校長先生や担任以外の先生に注意されたから	33 2.4	109 3.4	142 3.1
親に注意されたから	186 13.7	199 6.2	385 8.4
友達に注意されたから	151 11.1	186 5.8	337 7.4
学校のカウンセラー等に注意されたから	9 0.7	6 0.2	15 0.3
自分自身でいじめはいけないことだと分かったから	782 57.7	1,696 52.8	2,478 54.3
いじめることに興味がなくなったから	232 17.1	968 30.2	1,200 26.3
無回答	56 4.1	238 7.4	294 6.4
計	1,355	3,210	4,565

（資料）総務庁「いじめ・登校拒否・校内暴力問題に関するアンケート調査」（平成10年4月）